

可能になるので、スピード感を持って対応していきたい。

質問 住民基本台帳マイナンバー制度が導入されるが、ICカードの普及率と平成27年度発行見込み数は。

答弁 発行枚数は平成24年度1011枚、平成25年度が2937枚で、1枚1700円である。平成27年度は新規発行900枚、更新300枚を見込んでいる。

質問 一人当たりのゴミ排出量が増加しているがどう認識しているか。またゴミ減量化のための周知について、より分かりやすい周知が必要と思うが。

答弁 ゴミ減量化の施策が市民に伝わっていない部分があるのはそのとおりである。燃えるゴミの一人当たり排出量について、目標1日430グラムに対して、1日480グラムである。平成28年度以降について、平成27年度中に検討する。

質問 婦人消防協力隊の現状と消防団員の確保は。

答弁 婦人消防協力隊は平成28年4月に統合。消防団員の確保については平成21年から平成27年の期間に、約100名も団員数が減少している。広報、パンフレット、団員の声掛けなどにより勧誘している。

質問 水沢東バイパスと国道397号、及び無堤鶴城地区の整備状況は。

答弁 東バイパスについて国は年3億

円くらいの予算を毎年措置して整備している。国道397号343号までの路線を第一に整備するよう引き続き要望していく。国道397号についても要望している。胆沢区内に歩道が整備されたが、新小谷木橋は用地買収の段階。平成27年度から一部施工されるとの話もある。平成34年度に供用開始。平成36年度に現在の小谷木橋は撤去の計画とのこと。無提鶴城地区については説明会を開催するなど動きがみられる。国では具体化された図面を持っている。事業は30年代半ばまでとなるようである。現在は本格的検討段階状況と思う。

質問 上下水道事業の一本化について。
答弁 下水道事業が平成32年4月までに公営企業会計に移行することから、検討した経過がある。窓口の一本化等のメリットもあるが、管轄する省庁が異なるためアプローチの違いがある。県内では13市のうち3市が一本化している。引き続き検討したい。



市ではリサイクルの分別を推進

予算審査特別委員会附帯意見

平成27年第1回奥州市議会定例会において審査した平成27年度予算については全会計において原案のとおり可決されました。なお、次のとおり付帯意見を付すこととしました。

会 計	内 容
奥州市一般会計	1 市有財産の取得、売却等の契約においては、透明性、公平性を図られたい。 2 無認可保育所など子ども達の安全確保を図られたい。 3 保育料の決定の際、みなし寡婦控除を検討されたい。 4 統合中学校建設においては、進捗状況を関係者、議会に対して丁寧な説明に努められたい。 5 人間ドック補助人数の拡大を図られたい。 6 心身障がい児福祉推進事業について、全区において充実・実施されたい。 7 奥州市の産業振興、雇用創出のため、更なる農商工における政策の充実強化に努められたい。 8 市内3スキー場は年間活用運営を検討されたい。 9 水沢江刺駅周辺の開発強化に努められたい。 10 ごみ減量化に向けた取組みを強化されたい。 11 通学路危険箇所対策等の道路の維持管理に万全を期されたい。
奥州市水道事業会計	水道事業の包括民間委託に係る業者選定について、慎重に対応されたい。